

研究課題名「小児期逆境体験は成人以降の居場所や作業との結びつきとどのように関連するか」に関する情報公開

1. 研究の対象

アイブリッジ社のアンケートシステム Freeasy の回答者として登録されており、アンケートの配信により回答が可能な方で、フルタイムで勤務している 20 代・30 代の男性のうち、本調査への参加に同意し、回答した方を研究の対象としています。

2. 研究目的・方法・研究期間

研究目的：子供の頃の虐待などの体験が、現在行っている活動や心の健康などに及ぼす影響を明らかにすることを目的としています。そのことにより、心の健康を守る方法を考えることに役立ちます。

研究方法：

1. アイブリッジ社の Freeasy による Web アンケートを行います。年齢、現職の勤続年数などの基礎情報と子供の頃の様々な体験の有無、普段行っている活動にどの程度意味を感じているかなどのアンケートです。10 分程度のお時間をいただきます。
2. アイブリッジ社よりアンケートデータを回収・解析し、子供の頃の体験が現在に及ぼす影響を評価します。アンケートデータはアイブリッジ社から回収した時点で誰のものかわからないように ID によって管理されています。

研究期間：実施承認日 ～ （西暦） 2026 年 3 月 31 日

3. 研究に用いる試料・情報の種類

- ・基礎情報：年齢・勤続年数・世帯年収・教育歴・同居者の有無
- ・ACE-J（子供の頃の体験について問うもの）
- ・居場所尺度（日頃どの程度自分の居場所があると感じられているかを示す指標）
- ・EMAS-J（普段行っている活動にどの程度意味があると感じられているかを示す指標）
- ・K-6（精神的な健康の程度を示す指標）

等

4. お問い合わせ先

本研究に関するご質問等がありましたら下記の連絡先までお問い合わせ下さい。

ご希望があれば、他の研究対象者の個人情報及び知的財産の保護に支障がない範囲内で、研究計画書及び関連資料を閲覧することが出来ますのでお申出下さい。

苦情受付先：

名古屋大学医学部保健学科総務係 052-719-1504

照会先および研究への利用を拒否する場合の連絡先：

（研究責任者）

〒461-8673

名古屋市東区大幸南 1-1-20

名古屋大学大学院医学系研究科 総合保健学専攻

講師・星野藍子

電話：052-719-3176

e-mail hoshino.aiko.r4@f.mail.nagoya-u.ac.jp